



スクールレポート

SCHOOL REPORT 67

学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「命の集会」と「親子学級」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局 3679

田原南部小学校「命の集会」

家族から受け継がれた『命』を学ぶ

田原南部小学校の裏には、山頂まで登ると、遠くに富士山の姿まで見ることができる藤尾山があります。その藤尾山にちなみ、毎年2月20日(ふじおの日)には、伝統行事となっている「命の集会」が行われます。今年のテーマは、「家族から受けつがれた命の大切さについて考えよう」でした。

昨年お母さんになられた方を講師に招き、赤ちゃんができて、産まれるまでのお話を聞いたり、1/2成人式を迎えた4年生が、誕生から10年間の成長の記録を劇にして発表したりしました。また、大切な家族へのメッセージを代表の子が発表しました。子どもたちは、家族から代々受け継がれてきた命の大切さを改めて実感し、自分を愛情たっぷりに育ててくれたことへの感謝の気持ちを、57名全員がそれぞれ表現できた集会となりました。

「なんぶのよい子」に、温かい心の種がまた一つ育ったと感じる一日となりました。



●お母さんの思いに真剣に耳を傾けて



●「1/2成人式」で発表する4年生

●放たれたディスクを「ナイスキャッチ！」



●親子で試行錯誤しながら紙飛行機を折ります



亀山小学校「親子学級」

『ふれあい』で深まった親子の“絆”

今年の親子学級は、台風の影響で海岸清掃が中止となり、その代わりに親子集会を行いました。内容は、ドッジビーと紙飛行機作りです。

前半のドッジビーは、6年生が中心となって計画を立て、進行役を務めました。対戦は縦割り班別の子どもチーム対大人チームです。初めのうちは余裕で構えていた大人チームも、子どもチームの活躍で、次第に真剣みを帯びてきます。また、今回取り入れた低学年への特別ルール(5歩相手のゾーンに入ってよい)に大人チームのたじたじする姿や、子どもチームの負けじとハッスルする姿に、思わず笑みがこぼれました。

後半は、親子で膝を交えながらの紙飛行機作りです。「どんな紙飛行機が遠くへ飛ぶのかな」「こうやって折れば、きっと遠くに飛ぶぞ」と親子で試行錯誤しながら、夢中になって折っていました。しばらくすると、完成した紙飛行機が体育館一杯に、所狭しと飛び交いました。最後はステージ上から距離を競い合い、盛り上がりました。

例年とは一味違った親子学級は、誰もが童心に戻って楽しむことができ、親子の絆も深まりました。